

事業の目的

○小学生とその保護者等を対象に、実際に介護にふれる機会を提供し、福祉・介護への関心を高め、仕事の内容や魅力についての理解を促すとともに**将来に向けて福祉・介護分野を職業選択の一つとして考えてもらえるよう動機づける。**

特徴・内容

○「高齢者や障害者はどんな風に生活しているの?」「介護の仕事ってどんなことをやっているの?」という疑問に焦点を当てて、**実際に体験をしながら介護について学んでもらう**よう体験プログラムを企画。

<体験プログラム一例>

・車いすを使ったレクリエーション ・高齢者の疑似体験 ・介護の仕事についての模擬授業

○実施期間は、親子で参加しやすいように**夏休み期間**に設定。

○会場は、**介護福祉士養成施設協会と連携**して専門学校で開催。

当日の運営は、児童と年代の近い**学生からも協力**してもらうことで、より身近に感じてもらえるように。

成果・効果

○**アウトプット** (体験者数) R5:20組41名、R6:21組41名

○**アウトカム** (R6アンケート結果 (保護者の回答) より抜粋)

「お子さんに福祉分野への就職・進学を勧めたいと思いますか？」

→「勧めたい」・「子どもが希望すれば勧めても良い」が100%、「あまり勧めたくない」が0%

PRメッセージ

新潟県福祉人材センターでは、介護の仕事が社会的に認知・評価され、若い世代の方々を中心に魅力ある職業として選択されるきっかけとなるよう、様々な取り組みを実施しています。

